

新潟県

公民館月報

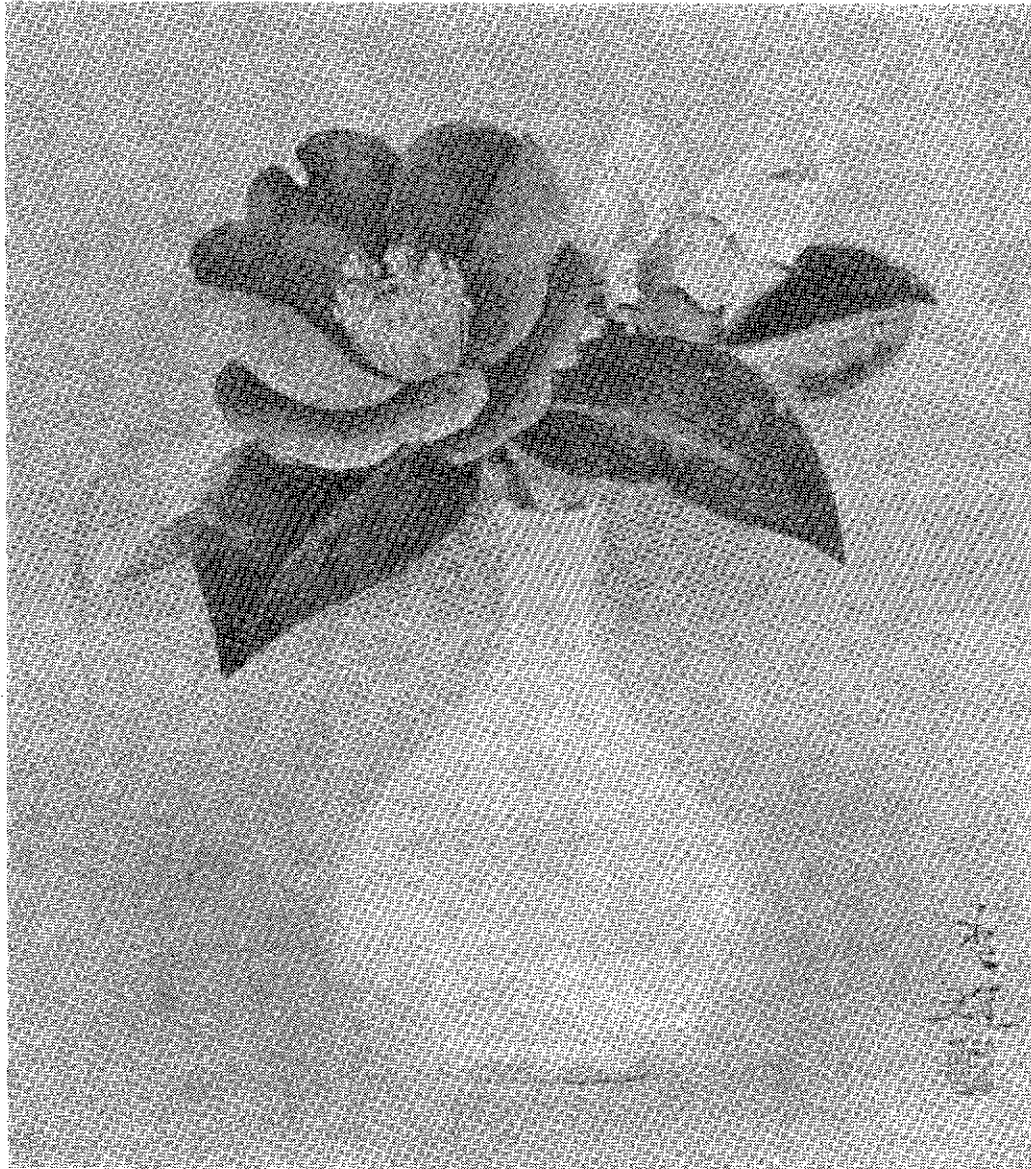
昭和52年4月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市一番堀通町・県教育庁社会教育課内】
【電話・(新潟) 6111 内線 326】 【振替新潟 4094】

発行人 会長 石井 耕一
編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 70円 年価 840円】



ユキツバキ

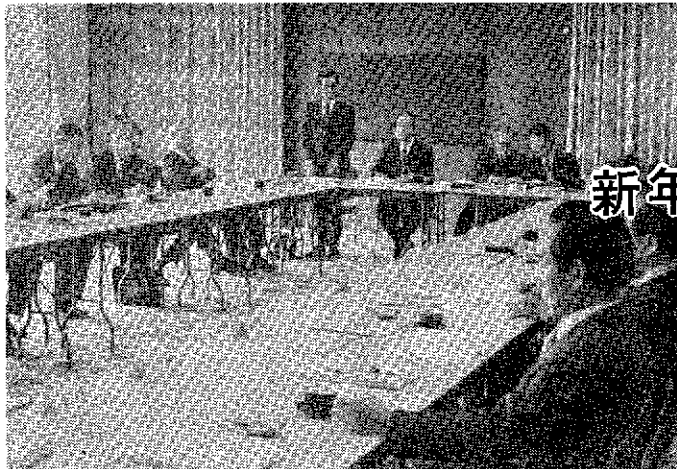
本県を中心とした日本海側各県の雪の多い山地に分布する。ツバキ属の灌木性の木本植物。従来ツバキ(ヤブツバキ)と異なる点は、花がサザンカに似て平開し、雄しべは筒状にならず基部まで分離し、花色は黄色。葉は葉柄が短くてその両側に細かい毛が生えていて、葉脈は先端まではっきりとみえ、葉縁のきざみが鋭い。

樹は大木にならず根本から枝が多くでて、枝がしなやかなので、野生状態では枝が雪に圧されて地をはたっている。ユキツバキの花はその形や色に変化に富み観賞価値が高いものが多く、耐寒性は思ったほど強くないが耐寒性に富み、押し木のように花がボトリと落ちることがない。

ユキツバキは本県の気候条件に適し、丈夫で栽培も容易で、庭木、鉢物、切花などに用いられている。一九六六年、県民投票の結果、圧倒的な支持を得て新潟県の県木に指定された。

野生では加茂市の加茂山公園、津川、鹿瀬付近が有名である。(新潟県百科大事典より)

絵・番場春雄(院展審査員
・加茂市)



〔新潟会館で開かれた第3回評議員会〕

第三回評議員会

新年度事業予算を議定

全国大会を焦点化

飛躍的發展へ第一歩

さる三月二十八日、新潟市の新潟会館で昭和五十一年度第三回評議員会が開かれた。付議事項の新年度事業計画、収支予算案など四案件は別稿のとおり承認された。

このうちとくに「第二十六回全国公民館大会」を十月に開催するにあたり、その開催要項案が示されたが、異議なく了承された。

付議事項

一、昭和五十一年度事業計画案

二、第二十六回全国公民館大会実施計画について

びんぎょう案について

一、第二十六回全国公民館(新潟)大会開催を焦点化した活動重点目標、事業計画、昭和五十一年度歳入歳出決算見込、昭和五十一年度歳入歳出予算(歳入歳出合計一千七百九千円)を議定した。

前年度開催した地元準備委員三、第二十八回公民館大会の方針について

上・中・下樓持ち回り制による従来の原大会方式は中止する。ただし、全国公民館大会を成功に導くための研究大会を、越後地区公民館において実施する。

四、役員補完について

人事の異動にともない役員に欠員が生じたので、それぞれ地区公民館の推せんによって次のように選任または委嘱された。

副会長 駒形一郎(長岡) 理事 斎藤泰三(中之島) 監事 大滝久治(蒲川原)

昭和52年度の活動重点目標

1. 第26回全国公民館大会新潟大会を開催し、県公民館の飛躍的發展に資する機会とする。
2. 県公連の組織力と財政力を強化し、健全なる事務局体制を存続するため、県および市町村当局の理解と協力を得て恒久的な方策を樹立する。
3. 公民館の振興に関する、国および地方公共団体の行政施策の強化に資するため、公民館振興市町村長連盟県支部の設立をはかる。
4. 県社会教育協会との提携を強め、とくに県における社会教育行財政施策の抜本的強化を促進せしめるため努むる。
5. 公民館をめぐる諸制度改善方策の一環として、社会教育法全面改正への世論を高め、全公連の策定した「公民館のあるべき姿と今日的指標」の具現をはかるため、全方をつくす。
6. 県教委に対し、県社会教育委員会が答申した「社会教育施策とくに、公民館の整備充実について」の施策具体化を促進するようはたらきかける。

みんなの力で成功させよう

全国公民館(新潟)大会へあと6ヵ月

昭和52年度役員名簿

Table with columns: 郡市名, 役名, 評議員名, 公民館名. Lists various roles and names across different municipalities like 下越, 新潟, 新潟, etc.



灯台

わたすの馬輪を重けてしま... ったの頃は、昔のことがな... かく、その思い出を懐けるこ... とが多くなりました。

この原稿をたのまれて、改め... てその発行号数を見、も二十... 四年間も続いているのを発見... し、びっくりさせられました。



なつかしの黎明期... 甲田敏郎... 同生の九月頃であったでしょ... うか、県下の公民館長会議が越... 後には秋田高校長を最後に勇退... 時、公民館は文化団体的性格が... 強く、館長には町村長が文化人... がなり、主事は役場の書記が兼... 務し、建物は役場か学校といっ... のが多かたようです。

校舎内に教... 育庁があっ... た頃で、編... 集は私と核... 井文一君... ますと次の通りです。私が社会... 教育課(課長吉川浩次氏、補佐... 柳沢えい女史)に入ったのは昭... 和二十四年一月、この時は増井... 時間、公民館のイロハを説か... ていた全公連の結成を敢て主張

連の結成も他真... に先かけてや... り、初代会長に... 山田厚治氏(新... 潟館長)がおられました。温厚... な紳士でした。神戸公平氏(鏡... 淵館長)は何事でも取りまとい... 河野弘氏(大... せん、御免ね。)

れ懇懇と聞いたことを思い出... します。この鈴木先生も、その... 後は秋田高校長を最後に勇退... し、間もなく故人となられま... た。本県の公民館は、質・量に於... いてすくね、『公民館新編』の... 名を高くしておりました。県公... 連の結成も他真... に先かけてや... り、初代会長に... 山田厚治氏(新... 潟館長)がおられました。温厚... な紳士でした。神戸公平氏(鏡... 淵館長)は何事でも取りまとい... 河野弘氏(大... せん、御免ね。)

(月別予定計画)

Table with columns: 月, 事業名, 事業内容. Lists monthly activities like 理事会, 編集委員会, 監事会, etc.

昭和五十二年度事業計画表

- 1. 連絡協議
(1) 全国公民館連合会総会 1回
(2) 都道府県公連事務局長会議 1回
(3) 関東甲信越静公民館連絡協議会総会 1回
(4) 関東甲信越静公民館連絡協議会理事会 1回
2. 研修会・講習会
(1) 県公民館研究大会の共催
(2) 上・中・下越公道主催の大会研修会・講習会の共催
(3) 各郡市公道大会研修会・講習会の共催
(4) 県公民館職員講習の協賛
(5) 県公民館長研修会の協賛
(6) 全公連地区別研修会 1回
(7) 組織強化対策専門委員会
3. 資料発行・あっせん
(1) 新潟県公民館月報の発行(実践記録コンクール)
(2) 公民館関係法令解説の発行
(3) 公民館運営テキストの発行
(4) 「月刊公民館」の発行事務に協力
(5) 社会教育関係優良図書紹介あっせん

文部次官通牒

公民館活動の原点ともいえるこの「文部次官通牒」には、三十年を経たいまも共通課題として生きつづけている内容を多く含んでおり、公民館関係者のバイブルの役割を果している。

新・旧公民館人から読後感想文を寄せていただいたので掲載する。前号「上」と合わせて再読していただければさいわいである。

再録 (下)

- 1 町村生活の科学化、合理化の突出事項を挙げて
- 2 産業指導についても図其の他各種の資料の陳列によって眼につける教育に努めること
- 3 産業指導主任は科学的知識技能者が中心となり、右各項の指導を担当すること
- 4 集会所は町村民の為に左の様な活動を計画開催して、其の集会所の指導が中心となること
- 5 公民館は、公民館設置及び管理に關する条例を都道府県に報告すると共に、開館式を遂行する様に努めること

公民館に於ては農村又は其の他の社会事業、慈善事業団体の委託を受け又は之等と緊密な連絡の下に協力する様な事業を行つて差支ないこと。

- 1 右各部の活動の外左の事業をも行うこと。
 - ア、学生、一般青年の研究修養に便宜を与へること。
 - イ、農村実態調査及研究をなすこと。
- 2 公民館には青年団、女子青年団、婦人団体、少年団其の他文化団体本部を置き事業の企画指導及団体相互の事業調整すること。
- 3 公民館に於ては農村又は其の他の社会事業、慈善事業団体の委託を受け又は之等と緊密な連絡の下に協力する様な事業を行つて差支ないこと。

- 1 財団法人大日本生活協会
- 2 財団法人中央報徳会
- 3 財団法人大日本報徳社
- 4 財団法人報徳会
- 5 財団法人修徳園
- 6 財団法人日本青年館
- 7 財団法人大日本図書協会
- 8 財団法人日本博物館協会
- 9 財団法人大日本映画教育会
- 10 日本移動映画連盟
- 11 財団法人日本移動演劇連盟
- 12 日本紙居協会
- 13 日本レコード協会
- 14 日本音楽連盟
- 15 教育音楽家協会
- 16 財団法人大日本音楽振興会
- 17 財団法人日本国民音楽酒田会
- 18 財団法人大日本職業指導協会
- 19 財団法人大日本女子社会教育会
- 20 財団法人農村青年協会

公民館設置の手続としては、別に法定の正式手續がある訳ではないが、(1)消法を遵守する法として、大体左の如き方法が考へられる。

- 1 公民館設置の規模及設計
- 2 公民館設置に要する経費の算及経費調達方法
- 3 公民館委員会設置の方法 (委員選任の方法等の決定)
- 4 其の他必要な事項

- 1 公民館設置の準備
- 2 公民館設置の準備
- 3 公民館設置の準備
- 4 公民館設置の準備
- 5 公民館設置の準備
- 6 公民館設置の準備
- 7 公民館設置の準備
- 8 公民館設置の準備
- 9 公民館設置の準備
- 10 公民館設置の準備
- 11 公民館設置の準備
- 12 公民館設置の準備
- 13 公民館設置の準備
- 14 公民館設置の準備
- 15 公民館設置の準備
- 16 公民館設置の準備
- 17 公民館設置の準備
- 18 公民館設置の準備
- 19 公民館設置の準備
- 20 公民館設置の準備

公民館の運営に關しては、中央及都道府県に於いて出来る限りの転送を為すこと。

公民館の整備は資材資金等の關係から直に乃至な施設を為すこと。

公民館は町村長にとつて「われわれ自身の施設」であるから其の關係者特に役職員はこの事業を成功させる為めに無償奉仕する心構へで公民館の運営に力を尽くすべきこと。

公民館設置の準備に關しては、(1)消法を遵守する法として、大体左の如き方法が考へられる。

- 1 公民館設置の準備
- 2 公民館設置の準備
- 3 公民館設置の準備
- 4 公民館設置の準備
- 5 公民館設置の準備
- 6 公民館設置の準備
- 7 公民館設置の準備
- 8 公民館設置の準備
- 9 公民館設置の準備
- 10 公民館設置の準備
- 11 公民館設置の準備
- 12 公民館設置の準備
- 13 公民館設置の準備
- 14 公民館設置の準備
- 15 公民館設置の準備
- 16 公民館設置の準備
- 17 公民館設置の準備
- 18 公民館設置の準備
- 19 公民館設置の準備
- 20 公民館設置の準備

実践記録シリーズ

24

「実践記録」のあれこれ、いろいろと反響を呼んでいます。あなたもぜひ書いてみてください。

自主運営の効果絶大

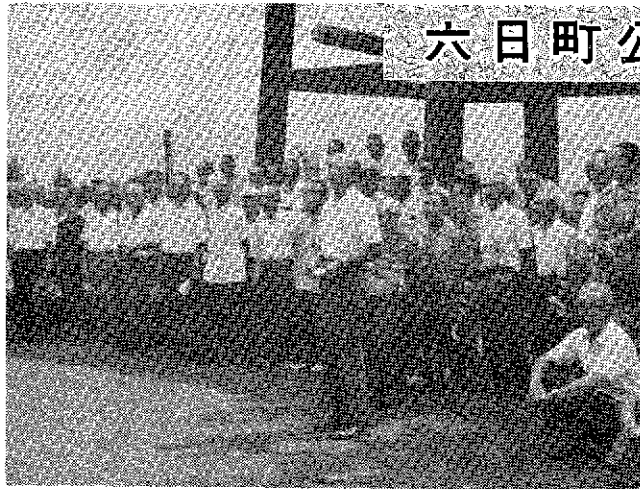
歓迎されている「高令者学級」

△△△△△

老人クラブに委託して開設していた高令者学級を本来の自主運営に切りかえ「高令者学級が待ち遠しい」といわれるようになった。

▽▽▽▽▽

六日町は、昭和三十三年、六町として発足した人口二万七千五百人、五十沢村、城内村、大蔵村、百人の中程度の町であるが、昔から陸奥沼津郡の政治文化の中心地でもあった。



〔文化財を視察中の学級生〕

高令者学級を、老人クラブに委託形式で開設したのは、昭和四十七年といわれている。老人クラブに委託するに、それなりの理由があったのである。学級生の募集をどのようにしたらよいか、が原因の一つとして考えられる。町には五十一老人クラブがあり、合併前の旧町村単位地区の会長が選任されているが、年間の活動計画も具体性を欠き、何もなしで任期末を迎えた会長も多かった。ところが、このように所へ、耳新しい「高令者学級」といっても果して地区の末端にまで周知されるかどうか心配されたのであろう。ところが、五十一クラブの会長・副会長が「死守学級生になれば首名はなる、それにそんなに多く集めても集まる場所がない」とい

うことで老人クラブに委託形式になったといわれる。このような形で発足した「高令者学級」であるから、関係した特定少数の者はそのことを知っていたが、殆どの高令者は「高令者学級は老人クラブと同じもので表現をかえているだけ」にしか理解されていなかった。昭和五十年に単位クラブ二名宛を五名以内としてみたが、それでも脱落させられる者から苦情が来た。昭和五十一年に大改革を実施する為、老人クラブ員は募集要項を配布し、六十六以上の希望者の募集をして思いがけないことを発見した。それは、

六日町の人口は 二七、五〇〇
老人クラブ員は 二、七〇〇

- 1 開校式 仲間づくり 全体集会
- 2 政治 町政を聞く 全体集会
- 3 健康 高令者の健康、食生活 分館単位
- 4 文化財 バス旅行 町内の文化財 1、2、3の啓発者
- 5 健康 体力づくり 全体集会
- 6 趣味 趣味の深化 盆栽と俳句 分館単位
- 7 体験発表 友人と語る 分館単位
- 8 文化財 バス旅行 郡北・北魚の文化財 5・6・7の啓発者
- 9 講演 時の話題 全体集会

入級希望者はなんと 二七〇
昭和51年に、51老人クラブ大変おぼえやすかったのであるが、来年は六日町上町が人口増に伴い二つに分かれるであろうから、五十二年度は五十二老人クラブになるわけだ、などもおかしなところがある。

「私と公民館」の原稿募集
二年前から継続募集してまいりました「実践記録シリーズ」は、これまで七十編以上の応募があり、それぞれ特色ある活劇がうかがえて、現場から大へん参考にすると好評をいただいています。この「実践記録」と表紙をなす「私と公民館」は若干応募が少なく、編集上苦心を要するところがあります。

このように昭和五十一年度から一応法に基づいて、六十五以上の者を対象に広く募集し、各地区の会長、副会長を学級の運営委員として、次のプログラムで運営してきた。

はじめは、老人の間はなしの集まり位に考え、いた者が回を重ねるにつれ主体的、意欲的に学習に取り組みよくなりました。家庭でともすると善玉の気象とりの子守や消遣に費やしていた時間を、学校でできた友人の訪問、趣味の深化に、自らを楽しまながら高めようとする動きが言へている。来年も無理のないプログラムを提供して、はげまします。助け合いながら学習に参加してくれることを願っています。

六日町公民館長 種村 茂春

地域社会の発展と豊かなくらしづくりにお手伝い

県内はもちろん、広く県外へのびた(だいし)のネットワークは111ヵ所。皆さまの明日の豊かなくらしを願って日々努力を重ねています。

くらしの夢を育てる 第四銀行 本店/新潟市 創立/明治6年

燕市公民館小池分館



花盛り四つの部会

生きがい交流の場にも

ペン習字部会

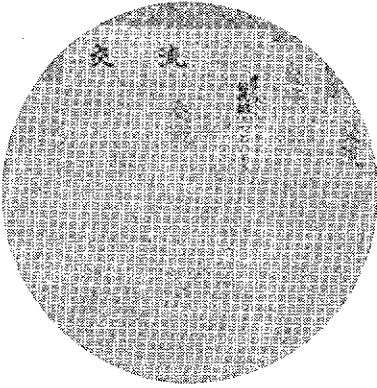
この部会は、十八才から七十才と幅の広い層があることです。毎週土曜日に講座を開いてい

ます。先生のいない日でも出席者の良のいが特長です。しかも、七十才以上の方には一つの生きがいに

考えられ、また、講座終了後の雑談などが、参加者同志のコミュニニティ作り役立っています。

交流—編集部会

分館をよりとして、交流を奨励しここに、四つの部会を紹介し



「交流」の編集

地域の人人々と公民館活動との連がりが薄れる傾向があります。特に

分館となりますと、その存在すら若い人達には忘れられてしまうの

ではないかと思われたのです。B4版の二ページですが、内容

は地域内の人々との交流が中心で、お年寄りから若者までが登載する意見発表の場になっていま

す。最初は原稿を多量にお願いしてもなかなか集まらなかったが、あの人々が、この人がこのように身近な人々の文章が載っているため読者と興味を引かれています。

文化部会

本館の行事にあわせて、小池分館とらう地域性を出すまう

にし、企画と計画を行なう部会です。部会員は五名ですが、

各部会の連絡調整、人集め連絡などをほかり、盛り上げるようにしています。

生花部会

生花部会が発足してもうすぐ一年にな

ります。小池分館を

菊花愛好部会

この会は、燕市の花である菊の

中心に地域性を考え四会場を設け、誰でも気軽に参加できるよ

う計画されています。四会場とも毎週二日間、講座では、花材を

見、花語にふれ、何を思い、何を感ずるかを大切にしています。総

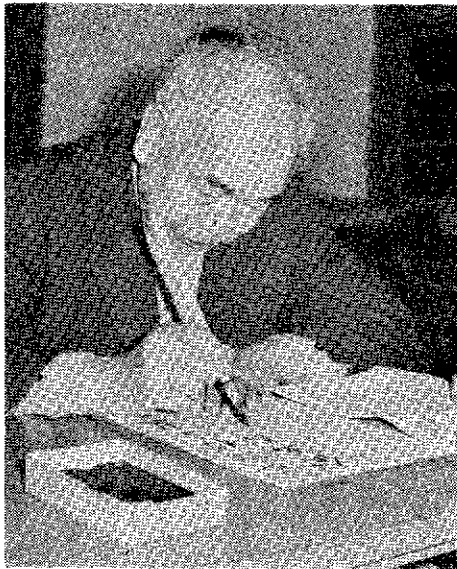
統して参加することは困難のことですが、その困難を乗り越えても

継続することは、その意義のあり方に違いますが、家庭生活上

また社会人として意義のあることと考えています。

栽培を通じて、地域の人人々の和をはかるため昨年同好者に呼びかけて発足しました。現在、会員は六十五名で、年間三回程度の講習会を開いています。栽培時期になりますと、愛好者同志で栽培技術や品種交流などが盛んで、菊作りの共通した苦労が一つの連帯感を醸成しています。昨年は、天候不順で栽培の苦労もありましたが、みんなを協力しあい、秋には見事な花を咲かせ、「菊咲かせて、今日までの苦労忘れり」の句を思い出させる感があり、新会員もふえています。

(燕市公民館小池分館長 田中常松)



書道講座

新潟県社会教育講師紹介資料

講師のプロフィール
内容・B5版・32頁
●項目・類写真・氏名
●現職住所電話・生年月日最終学歴・社会教育関係の経歴・現在の活動(著書等を含む) 専門領域
●会費—一部三五〇円
●申込先—新潟市一番堀通第二分館新潟県社会教育協会

公民館関係法令集

内容・教育基本法・社会教育法・社会教育施行令・公民館運営要綱
基準の取り扱いについて
A5版、34ページ
一部二五〇円送料別
公民館関係の諸会誌に使用ください。
申込先・県公運事務局

私と公民館

私は六十五才で、高卒者級の二に当たり、友達を訪問し、好きな一年生であります。昔

年期から廿年期を通じて不況と戦争を経て修養も無く無我夢中で、ただ働いたばかりの明け暮れでした。二回五反の自作農地も私が徴兵で従軍して行ってよって半減し、敗戦と

なりました。魯国種に華々たる園へ外地が絵を描いたり、筆をしたり、新

復員して来た不逞者身の上であつた。退屈など思つたことは全くありません。『不如意』とは私のためにある言葉だと思つては、昭和三十年頃から、遂に家庭経済も破産し、何とか子弟も育てることができなくなりました。やれ長か

退屈のひまなし

無試験学級のたのしさ

六日町公民館高令者学級 広 田 権 一 郎

開級式以来、心身共に得る所が多かったが、中絶早業、社手仏蘭の研修訪問は、特に印象に残りました。近所の、話に聞いていても、初めて訪問した所もあり、

出深いものがありました。反山登りなど、この様な活動で初登山でした。毎日、朝夕庭先で見ているお山であるが、何時でも登れるという安易から、遂に時を逃してしまつたわけ、こうして

先生の御講演の時間が、二時間ではおひさしですが、せめて三時間以上を願ひたいと思ひました。無試験学級も愉快ですが、新しい思ひ出をいっぱい残して

退屈の一端を申し述べました。



短歌
大地に光あたる頃なればいつか去りぬ白鳥はるかた
太田サキ
ひるまきも楽しきことの少なくてかえりもさびしき日記
尾身好子
雪割れば春さきがじて水仙の黄緑の身揃えていでぬ
島田ミタ
車椅子に乗りたるやさしき奥様と知りたひとなりし辛売りに行き
田村てつ
海原に昇らん日輪を拝みたく霞につつまれにほけにせず
栗材静枝
善くくれて朝を朝の道を歩む同じ顔がれたまに白あけり
春日清子



支えあう人生

燕市小池分館婦人学級生 川崎トミ

「こち吹けば匂いおこせ梅の花」こよみの上では春といふのに、外では遅くノドノサの除雪の音が聞こえ、部屋には赤くストーブが燃えていて、今夜も講座がはじまる。とまり部屋

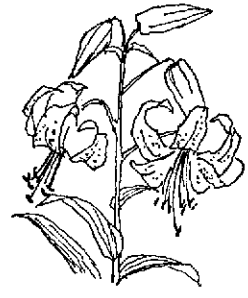
この会場へ、月一、二回と幾度かよつたことであろう。当時私は嫁の座であり、育児に雑作業にと多忙な日々だったので、地域の役員としての責任が重く

いでのいろいろな講演、講習会、な野菜、くだもの、おにぎりをかついで山のほりです。そののみなさんにはおまかせなからには、自然のやさしさが私たちにまわって来ました。清水の水をくんで、みそ汁を作り喉を潤したことを覚悟すにはいられない

人といふものは、その字の如くたのまに、おたがいに支えあつて生きています。行動をおこすことばめんどろなことで、その行動が仲間作りとなり、若も若きもささえあひながら語りあつていけることができれば、すばらしいことだと思ひます。時

俳句
寒灯大針のすべりのするどくて
柁崎マツ二
スノーマツ、抜ければ秋の真盛
児玉 イエ
待てと待てと母の母の真取り
太田 サキ
春の泥ゆすり若問の序を抜く
田村 余花
ユンパイン野郎にし野分吹く
春日 朝生
堀の目をたて明日は山初め
春日 文柱
(俳句・短歌とも十日町市吉田地区公民館発行「吉田15号」一か

あの頃のこと



小田 澄子

ゆりの花の思い出

宿題だと言いつけておいてはいる子供、困ったと思つた。まあそれよりも宿題の出来をうれしきで、日課のひつたつた水くみを、ふたんの二倍も張り切つてやった。そして私は、その年の夏休みもまた同じゆりの花の表紙の絵日記を

今度は自分でまねて書いて出した。初夏が来て、この花を見ななびきまうて雲の山より、まっ白な大

それ以来、気を付けてみると私の祖母もまた、その季節になると

供えながら音をなつかした。今年もまた、その思い出の時期が近づいた。

一昨年のお盆に久しぶりに実家に集まった妹達と、祖母の好きだった時期運れになって咲いた一本の山ゆりの花を道の花に見つけ

もは昔の子供の頃がなつかしく思い出される年代となつた。私共小学校の頃の夏休みと言ふは、きまつて絵日記の宿題が出たもので

「これは親切すりながら仕方がない」との返事。返す言葉もなく苦笑するの頃。

めまじしいゆりの花も一輪に立ててあった。その取りだすゆりの高い香りが座敷いっぱいにはびこる。常に季節の花を供えては仏様を拜んでいたその姿が今も心に残る思い出のひとつ。その祖母も亡くなって十五年。

模様がえの第一弾として「雪つばき」を加茂市在住の香場春雄氏(院屋番倉口・加茂市公民館運営)から書いていたなき

本紙の表紙、第一面は写真と号に表紙としてカラーで載せる詩を構成してまいりましたが、とになつていきます。いずれも加茂市公民館館長桑原栄治氏のお力添えによるもので、ここにあらわせず深くお礼を申し上げます。

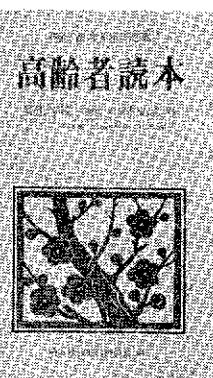
これからの一年間、いろいろなお力添えを承知して、家の方々に揮毫していただきたく思います。

皆さまのお力添えをお待ちいたします。

紙のこ

編集部

良書紹介



家庭での人間関係、第四章。若者を理解する、第五章。余暇の利用、第六章。社会参加と奉仕

問題が回避することのできない問題であり、人格完成の終局は性との絶縁によつてもたらされるものではない。

いませ。一藤の花の素は、紫陽花の花の素は、女郎花の花の素は、龍膽の花の素は、臘梅の花の素は。

いよいよ新年度、全国公民館(新潟)大会の年です。本紙がお手伝いして、四月二十二日は、新潟大会の実行委員会メンバーと、現地事務員担当メンバーもまきまきです。五月中には、会連の役員会で大要項が正式に決定され、具体的に動き出します。この要項案には、新年度の打ち出した、大胆な内容が反映されるものと期待されています。

日本社会教育普及会企画・日出版株式会社刊行による、高齢教育指導書及び高齢者級別読本の良書を紹介する。

「福寿草」姉妹編
内容：第一章 老人の歴史、第二章 老人の医学、第三章 老人と宗教、第四章 老人学級のあり方、第五章 考える老人

内容：伝統的な性の考え方、現代の性と性意識、老年期の夫婦生活、老人と再婚、老人と友情、外国における老人の性意識、実態調査から見た老人と性。

内容：家庭教育と市民性、核家族時代の家庭教育、家庭教育として、古い家庭教育と新しい家庭教育など

あ と が き

老人と学習

高齢者学級別読本

内容：生活教育と老人、老人の生活、老人の学習プログラム

福寿草

内容：第一章 老人の心理、第二章 心とからだ、第三章 人間の形成にとって「性」の

老人と性

新しい着想による、相互学習のテキスト。

愛性教育

美しい性の学習

内容：家庭教育と市民性、核家族時代の家庭教育、家庭教育として、古い家庭教育と新しい家庭教育など

家庭教育

内容：家庭教育と市民性、核家族時代の家庭教育、家庭教育として、古い家庭教育と新しい家庭教育など

読本

内容：家庭教育と市民性、核家族時代の家庭教育、家庭教育として、古い家庭教育と新しい家庭教育など

中に絵のうまい人がひびいてきた。私は勇気を出してそのおじさまに表紙の絵をたのんだ。心算、開いてくれたその人は夏の夏食休みに木陰に横になりながら、さつと一枚の絵を書き上げられた。それは大きくみごとな一本の白ゆりの花だった。夏の花はさわやかに、素晴しく涼しげだった。それにしては出来すぎで、私は少々

「これは親切すりながら仕方がない」との返事。返す言葉もなく苦笑するの頃。

それ以来、気を付けてみると私の祖母もまた、その季節になると

供えながら音をなつかした。今年もまた、その思い出の時期が近づいた。

一昨年のお盆に久しぶりに実家に集まった妹達と、祖母の好きだった時期運れになって咲いた一本の山ゆりの花を道の花に見つけ

模様がえの第一弾として「雪つばき」を加茂市在住の香場春雄氏(院屋番倉口・加茂市公民館運営)から書いていたなき

本紙の表紙、第一面は写真と号に表紙としてカラーで載せる詩を構成してまいりましたが、とになつていきます。いずれも加茂市公民館館長桑原栄治氏のお力添えによるもので、ここにあらわせず深くお礼を申し上げます。